



各 位

会 社 名株式会社アイダ設計(コード番号2990TOKYO PRO Market)

代表者名 代表取締役社長 會田 貞光 問合せ先 取締役管理本部長 下口 崇

T E L 048-650-0222 (代表)

U R L https://www.aidagroup.co.jp/

# 通期業績予想の修正及び配当予想の修正(無配)に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を最近の業績動向を踏まえ下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正について

#### (1) 2023 年 3 月期 通期連結業績予想の修正(2022 年 4 月 1 日~2023 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	63, 134	478	149	10	0. 27
今回修正予想 (B)	56, 467	Δ1, 120	△1, 744	△1, 213	△32.84
増減額 (B-A)	△6, 667	△1, 598	△1,893	△1, 224	_
増減率(%)	Δ10. 6				_
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	62, 091	1, 730	1, 518	844	22. 37

#### (2) 修正の理由

#### ①売上高及び売上総利益

売上高は、注文事業に関しては当初予想に対し、701 百万円下回る見込みです。また、受注から引渡までの工期が長期間に渡ることから、原材料の高騰の影響が顕著となった結果、注文事業の売上原価が当初予想に対し698 百万円上回りました。これにより注文事業の売上総利益は当初予想に対し1,399 百万円下回りました。分譲事業に関しては、2022 年 3 月期の受注が注文事業、分譲事業ともに好調であったことから、受注済みの注文住宅の建築に注力したことも影響し、分譲住宅の減少した完成在庫の水準が回復しなかった結果、分譲事業の売上高は当初予想を6,684 百万円下回りました。これにより分譲事業の売上総利益は当初予想に対し1,536 百万円下回りました。その他については、プレカットの外販が好調に推移したことなどが影響し、売上高は当初予想を717 百万円上回りました。売上総利益は当初予想を146 百万円上回りました。

以上より、売上高は当初予想 63,134 百万円から 56,467 百万円となりました。売上総利益は当初予想 12,147 百万円から 9,357 百万円となりました。

#### ②営業利益及び経常利益

販売費及び一般管理費については、経営の合理化などの施策により経費を削減し、当初予想を 1,192 百万円下回りましたが、売上総利益が減少した影響で、営業利益は当初予想 478 百万円から営業損失 1,120 百万円となりました。経常利益は当初予想 149 百万円から経常損失 1,744 百万円となりました。

## ③親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想10百万円から当期純損失1,213百万円となりました。

### 2. 配当予想の修正について

### (1) 配当予想の修正の内容

	年間配当金				
	中間期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭		
前 回 予 想		0. 50	0. 50		
今回修正予想		0.00	0. 00		
当 期 実 績	0.00				
前 期 実 績 (2022年3月期)	0.00	4. 00	4. 00		

### (2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への配当の充実を図りながら、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としています。

しかしながら、修正した通期業績予想において、配当原資となる親会社株主に帰属する当期純損益が損失となることを勘案し、誠に遺憾ながら無配とさせていただくことといたしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、業績回復に尽力してまいりますので、何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

(注)上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、算出したものであります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上